

トルコ為替週報

2023年11月14日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(11月7日～11月13日)

USD/TRY: 28.436～28.693

TRY/JPY: 5.24～5.31 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラは終値ベースでは引き続き、じりじりと対ドルで続落している。経済指標では9月分の鉱工業生産、経常収支、小売売上高が発表された。一連の結果は、鉱工業生産は回復、経常収支は予想以上の黒字を計上、消費の伸びは減速が継続、と通貨リラにとってサポート材料となりうるものだったが、為替市場の反応は限定的となった。

9月分の鉱工業生産指数は前年同月比+4.0%と8月分の同+3.1%から続伸し、同+2.8%への減速を見込んでいた市場予想を上回った。ただし、季節調整済の指数を前月比で見ると3か月連続のマイナスとなっていることを考慮すれば、生産活動が加速度的に拡大している格好ではない。それでも、資本財(前年比+19.6%)、中間財(同+1.4%)をはじめ主要項目が伸び継続を示していることは前向きな結果であろう。鉱工業生産指数は輸出との連動性も高く、先行きの輸出拡大を示唆するものとも解釈することが可能であろう。

9月分の経常収支は18.8億ドルの黒字と、8月の0.36億ドルの赤字から黒字転換し、14億ドルの黒字を見込んでいた市場予想を上回った。内訳を見ると貿易収支の改善が主導した形であり、輸出の伸びと輸入の減速が共に影響している。輸入の減速に関しては、金融引き締めの影響の可能性もあるものの、トルコ統計局によると最大の要因は交易条件の改善とのことである。原油価格は9月時点ではまだ上昇基調が続いていた一方で、食料や、原料、化学製品といったその他の輸入項目の価格低下が輸入額の抑制に影響している。

9月分の小売売上高は前年同月比+13.8%と8月分の同+17.3%から減速した。インフレ高進に伴う実質賃金の目減りや、トルコ中銀による金融引き締めに伴う個人による金融機関からの借り入れ条件の悪化を考慮すれば、先行きも消費の伸びが抑制される状況には変わりがないだろう。こうした状況が続けば、景気には一段と減速圧力が継続すると見られる一方で、輸入の抑制を通じて通貨の安定には資する可能性が高い。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/10	07:00	鉱工業生産(前年比)	9月	2.8%	4%	3.1%
11/13	07:00	経常収支(USD)	9月	1.40b	1.88b	-0.36b
	07:00	小売売上高(前年比)	9月		13.8%	17.3%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(11月14日～11月20日)

USD/TRY: 27.00～29.50

TRY/JPY: 5.00～6.00

今後1週間のトルコ・リラ相場は続落する公算が大きい。本来、TCMBの金融政策の動向はリラ相場の最大のカタリストとなるべきものだが、これまでのところ、タカ派的なメッセージに対する市場の反応は限定的となっており、投資家のトルコ市場に対する慎重姿勢はなお根強い。実質政策金利が大幅なマイナスとなっていることに加え、中東情勢の緊迫化や、米長期金利の動向への警戒が続いていることを踏まえれば、市場のセンチメントがすぐに改善することは見込みにくい。また、トルコの経常収支は夏場の観光シーズンに改善した後、秋から冬にかけては観光収入の低迷を主因として悪化する傾向がある。こうした季節性も、当面のリラ相場にとって重石となる公算が大きい。

今後1週間は、外部環境も大きく動く可能性がある点に注意が必要だろう。米国では、つなぎ予算が失効して政府機関の閉鎖につながりかねない11月17日を間近に控える。欧州では、EU財政ルール改革に向けた議論が再び焦点となろう。経済データでも、14日発表の米10月CPIを始め、為替市場への影響度の大きいデータ発表が控えている。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

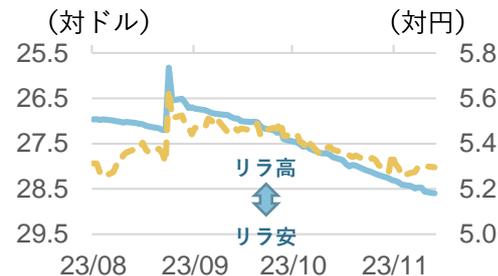
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/15	08:00	財政収支(TRY)	10月			-129.2b
11/17	07:00	インフレ期待(12か月後)	11月			45.28%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線:対ドルレート(左軸、逆目盛)

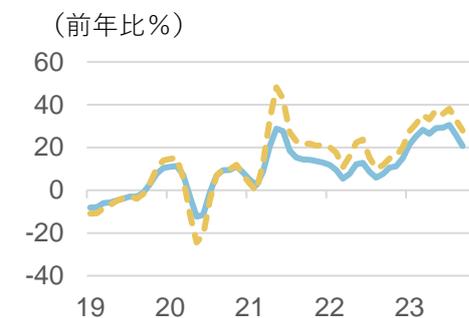
点線:対円レート(右軸)



トルコ 小売売上高

実線:総額

点線:食料・自動車燃料を除く



注:3か月平均値をとったうえで前年比を計算。

トルコ 鉱工業生産と輸出(数量)

実線:鉱工業生産

点線:実質輸出



注:3か月平均値をとったうえで前年比を計算。

(資料:トルコ統計局、トルコ財務省、ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

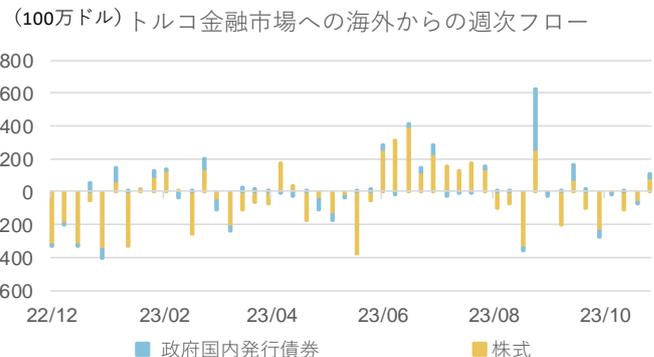
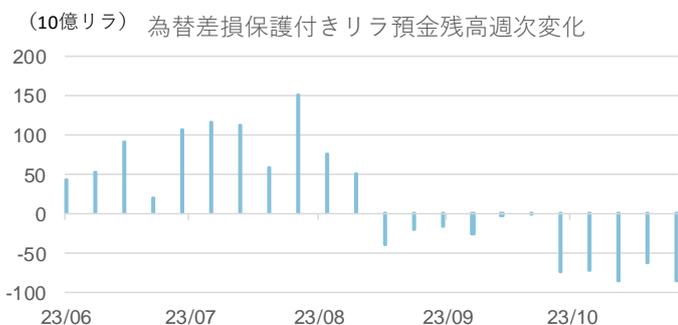
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

トルコ為替週報

2023年11月14日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。